

名称 ELIS (Environmental Law Information System)

日本語名 環境法情報システム

親機関 ELP

住所 Adenauerallee 214, D-5300, Bonn 1

国名 GERMANY

電話 49-228-2692-231

ファックス 49-228-2692-250

---

1. タイプ：国際的な法律情報システム

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

IUCNの法律プログラム (ELP, Environmental Law Program) は、国、国際レベルで世界的環境法を前提として実施されている。このために環境法センター (Environmental Law Center) は環境法分野における現在の法制と文献に関するデータバンクを開発し、運営管理している。データバンクはIBM社のIBM/38で利用できる。ソフトウェア (名称Romulus) は特にIUCNの環境法情報システムのために開発されたソフトウェアであるタイプセット装置とのインターフェースが可能であり出版物の準備が可能である。ELISは4つのデータベースからなる。

- (1) 国別の法制 (約 37,000 件)
- (2) 国際条約 (約 800件)
- (3) 超国家的な制度 (約 350件)
- (4) 法律及び政策関連文献 (約 39,000 文献)

ELISの項目分類は、土壌、大気、水、海洋、有害廃棄物、廃棄物、騒音、動・植物、保護区域、狩猟、漁獲、森林、土地利用、計画、環境一般と自然保護である。

ELISは世界中の人々に情報を与えるためにオリジナルの言語で情報を蓄積するとともに、同時に英語の要約、索引とタイトルを入力している。英語がシステムの中心的な言語であるが、他の多くの言語の情報も扱う。ELISのもとに国別から世界中の法制度が文書化されている。国際条約、各国の法律、関連の地域の法制に対する詳細な文献がデータベースに入力されている。環境法については法制化の担当機関が地域分散している場合もあるため、法律制度は各国の州、プロビンスと地域レベルで把握されている。

4. データ管理

法制のデータバンクは、現在環境法制度に関する文献的データを収録することを基本としているが、文献自身も図書室に所蔵されている。こうして地理的に広範な項目に基づいて参考文献一覧や関連文書による補足的情報を提供することにしている。

法律と政策文献データベースは主要な国際的環境会議のバックグラウンド文書と環境法や政策に係わる問題を扱う本、論文やジャーナルの文献を含んでいる。コンピュータベースは文書の所蔵によってバックアップされている。

5. 協力関係 ---

6. 参考文献 ELP参照

HEM, 1990; A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organizations